

資料番号:052124 マラッカ海峡協議会(ドラフト部会)関係資料「資料リスト」

資料番号 サブナンバー	名 称	備 考
052124-0001	第1回ドラフト部会議事録	昭和49/10/11
0002	第2回ドラフト部会議事録	昭和49/11/12
0003	第3回ドラフト部会議事録	昭和49/11/27
0004	第4回ドラフト部会議事録	昭和49/12/16
0005	第5回ドラフト部会開催通知	昭和50年2月
0006	配布資料D-1 マラッカ海峡およびシンガポール海峡通峡の超大型船の安全航行喫水に関する検討報告書 昭和42年10月 巨大船建造(喫水)問題検討会	B5 86頁
0007	配布資料D-3 A PAPER ON UNDERKEEL CLEARANCE TO BE PRESENTED ON 19th APRIL 1967 BY CAPTAIN A.F.DICKSON(SHELL INTERNATIONAL MARINE LTD.)	A4 22頁
0008	配布資料D-4 SIMULATION OF VESSEL ENCOUNTERS IN CONFUSED WAVES (J Patett ほか)	A4 24頁
0009	配布資料D-6 高倉山丸 船体部要目表 1973/5/13 三井造船千葉	A4 7頁 (2部あり)
0010	配布資料D-7 MALACCA STRAITS, DEEP DRAFT TRANSIT, 1973 (Shell International Maritime Ltd.)	A4 35頁
0011	配布資料D-8 NAVIGATION OF TANKERS THROUGH CHANNELS, By Captain A.F.Dickson(Shell Tankers)	B4 68頁
0012	配布資料D-9 ウネリによる船の運動に基づく必要余裕水深、花岡	A4 35頁
0013	配布資料D-10 平水における船体沈下と余裕水深(速報)、昭和49/11/12、元良	A4 3頁
0014	配布資料D-11 THE ANALYSIS OF SAFETY MARGINS IN THE MANEUVERING OF LARGE SHIPS IN CONFUSED WATERS(I.Oldenkamp ほか)	A4 42頁
0015	配布資料D-12 余裕水深の推定、1974/11/27、久々宮	A4 8頁
0016	配布資料D-13 波浪中の動揺による船体沈下、花岡	A4 6頁
0017	配布資料D-14 浅海域における航過2船の船体沈下、昭和49/11/27、谷	A4 2頁
0018	配布資料D-15 斜向波中の横揺によるビルジ沈下量、花岡	A4 6頁
0019	配布資料D-16 最深水深、安全余裕および潮高について、昭和49/12/16、谷	B5 1頁
0020	配布資料D-17 マラッカ・シンガポール通航について、1974/12/16、堀江	A4 1頁
0021	配布資料D-18 船速と余裕水深との関係、昭和49/12/16、久々宮	A4 8頁
0022	配布資料D-19 潮汐の高さと余裕水深について	B5 9頁 (2部あり)
0023	配布資料D-19 MALACCA/SINGAPOLE STRAITS DEEP DRAFT TRANSIT (2nd Edition:Oct.1974) Shell International Marine Ltd.	A4 56頁
0024	配布資料D-20 船底間隙試算例、昭和50/2/2	A4 1頁
0025	配布資料D-20 マラッカ海峡通航実績	A3 1頁
0026	配布資料D-21 BATU BERHANTI の21METER SHOAL 断面図	A4 1頁
0027	配布資料D-22 D-12の計算を、水深について20.5mまで拡大した。1975/8/1、久々宮	A4 5頁
0028	(番号なし)日刊海運造船速報、海事プレス社、昭和50/2/6、インタビュー「マラッカ海峡は危険ではありません」マラッカ海峡協議会常務理事鴨井担氏	B5 23頁
0029	(番号なし)Estimating the bow and stern sinkage of a ship underway in shallow water, THE NAVAL ARCHITECT JAN.1973	A4 2頁
0030	(番号なし)高倉山丸のメモ	
0031	(番号なし)海図の精度のメモ	

(注)配布資料D-2とD-5は欠落している。また、D-19とD-20には2つの資料がある。